

BMLinkSでマルチベンダー環境における オフィス機器の困りごとを解決

ー システムインテグレーター様の効率化とコスト削減へー

2009年11月17日

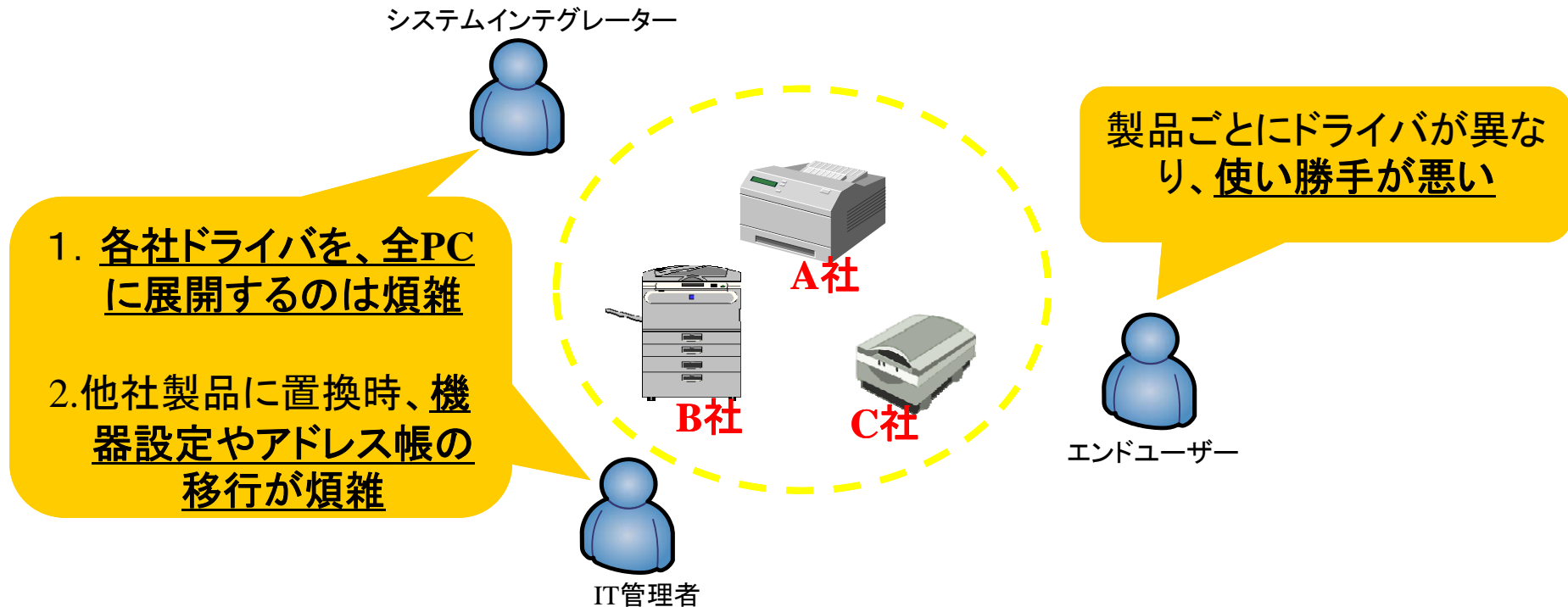
(社)ビジネス機械・情報システム産業協会:JBMIA

BMLinkSプロジェクト委員会

アウトライン

1. BMLinkSが解決するお客様の困りごと
2. オフィス機器管理コストを削減
3. 文書セキュリティ向上
4. 最後に

マルチベンダー環境における オフィス機器の困りごと

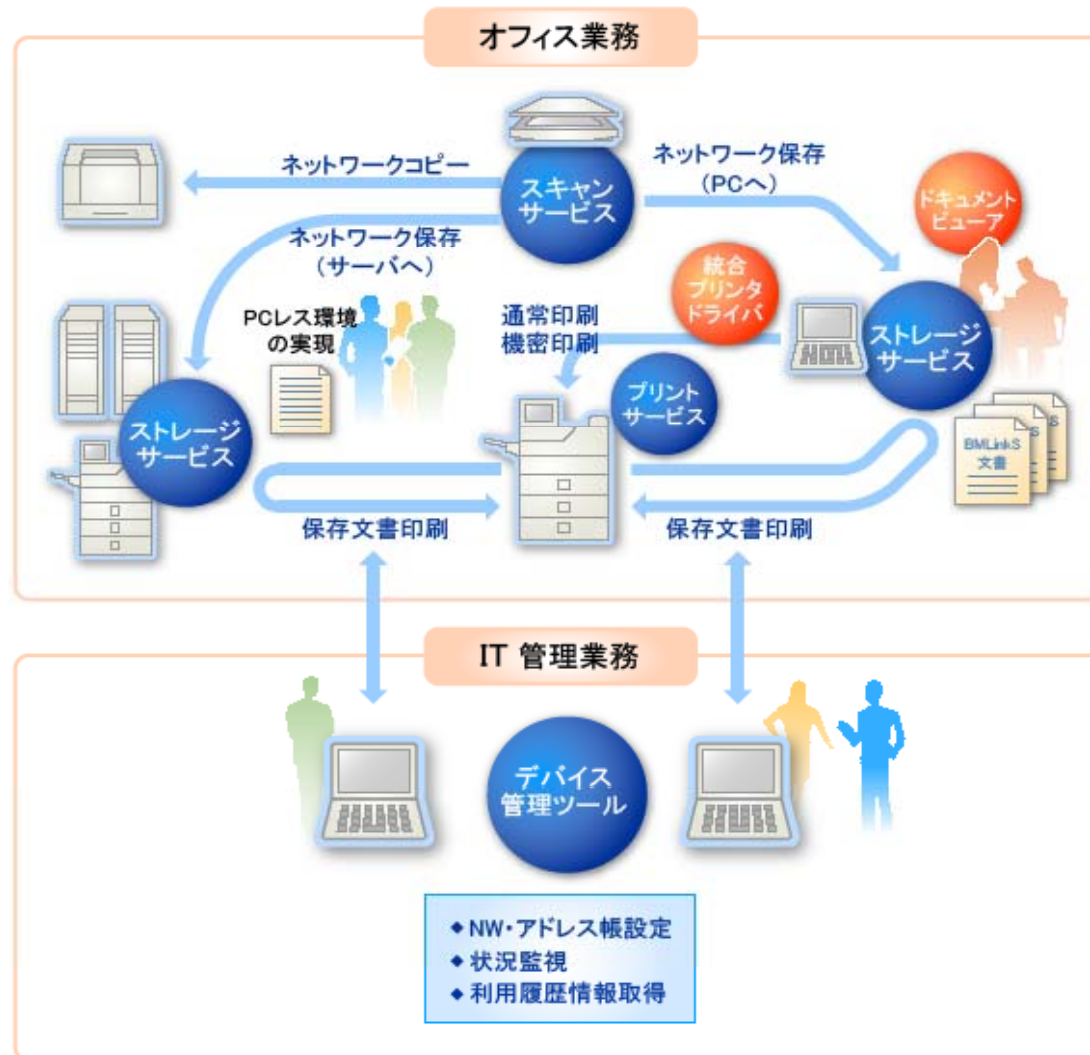


ベンダーに関係なく、同じように使いたい、IT管理コストを最小化したい

BMLinkSが解決します。
「つながる、見つかる、手に入る」

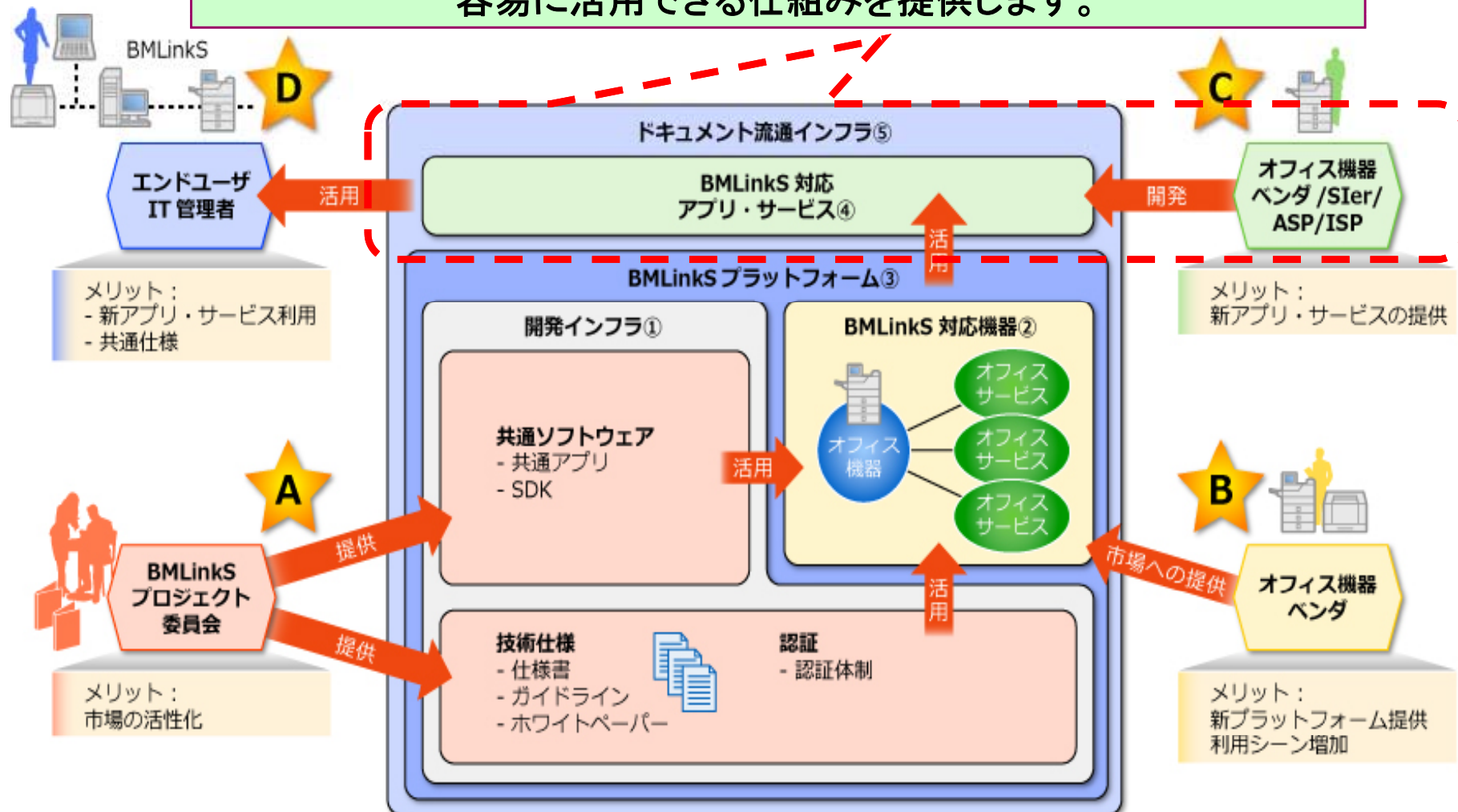
BMLinkSドキュメント流通インフラ

マルチベンダー環境で標準化された、統合的文書取り扱いの仕組み



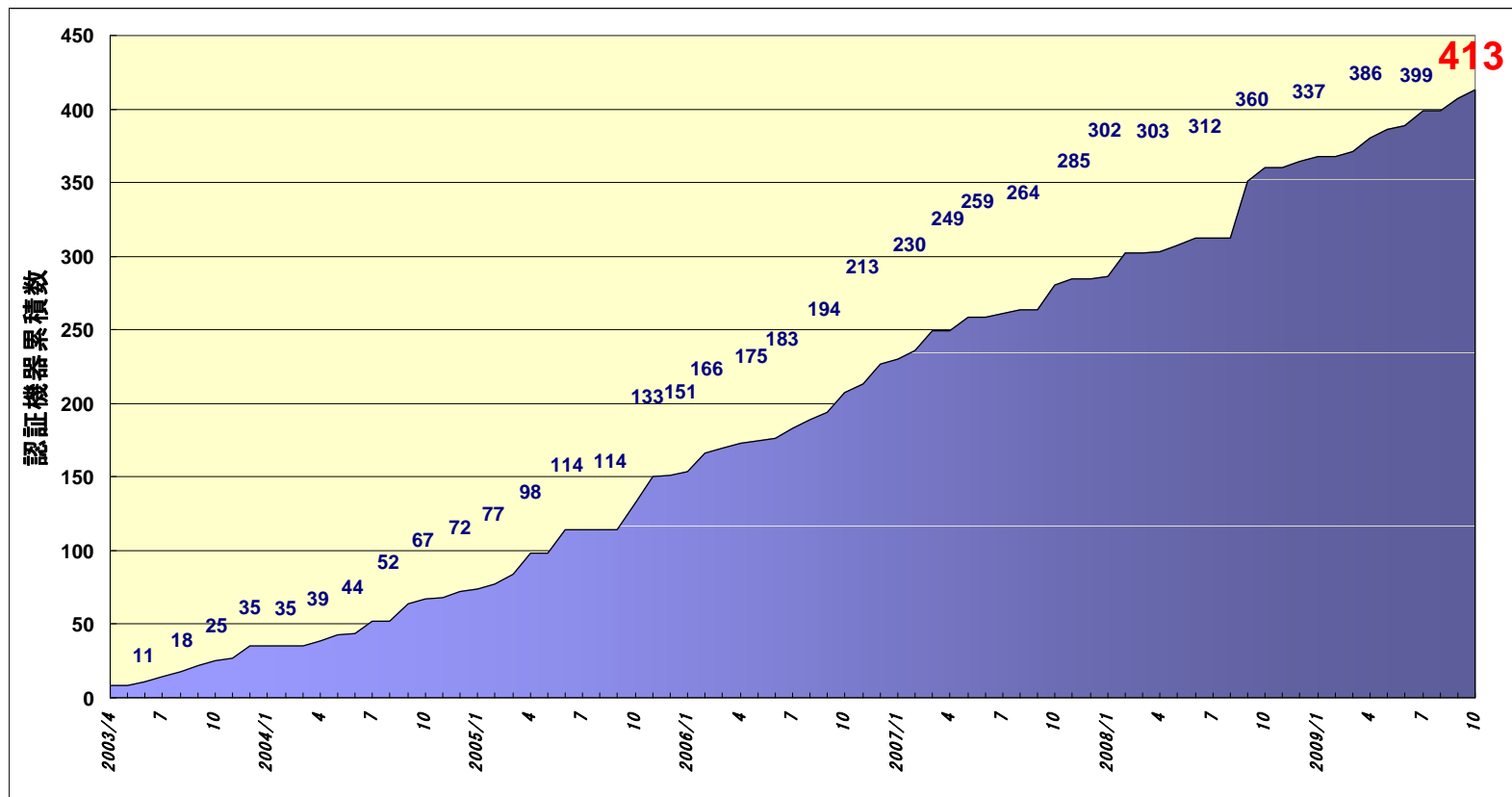
システムインテグレーター様のビジネス機会創造

システムインテグレーター様がBMLinkS対応製品を容易に活用できる仕組みを提供します。



BMLinkS 対応製品の拡大と浸透

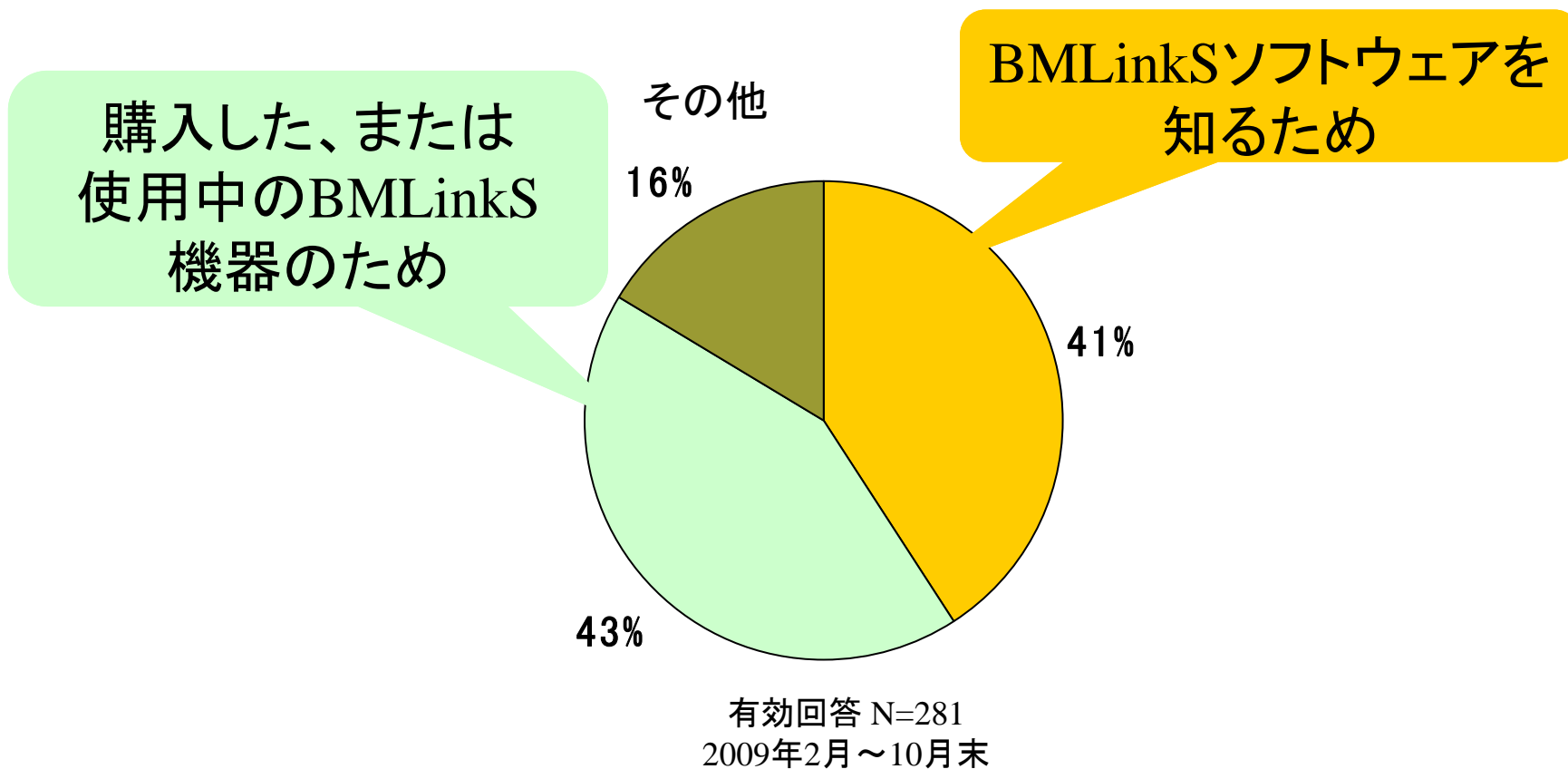
- 413機種が対応している。(2009年10月末時点)
- 複数ベンダーが対応：キヤノン、コニカミノルタ、シャープ、富士ゼロックス、リコー(50音順)



お客様アンケート

興味がある、購入した、使用中のお客様が多い

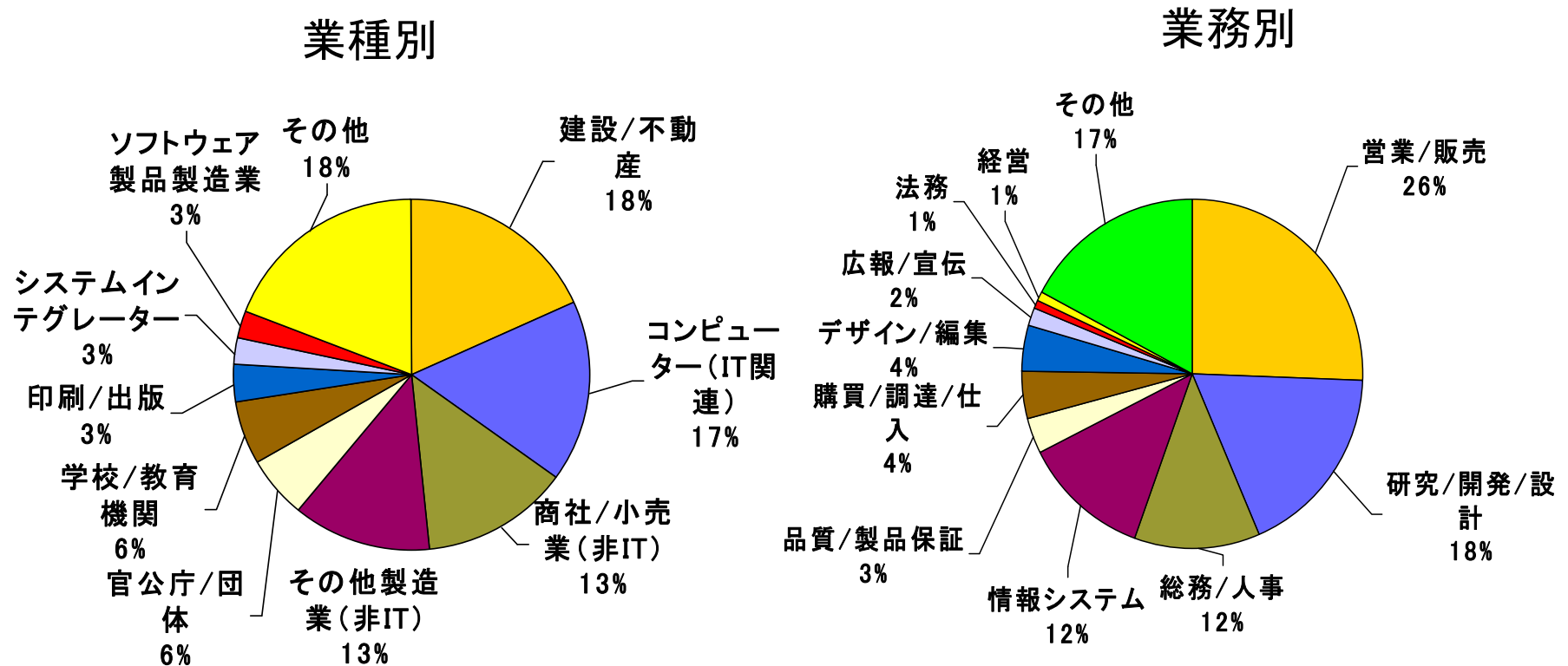
- ◆ 「BMLinkSドライバダウンロードの利用目的」アンケート結果より



お客様アンケート

さまざまな業種や業務にまんべんなく浸透している

- ◆ 「業種・業務別BMLinkSDライバダウンロード」アンケート結果より



お客様の声 教育関係者様ヒアリングより

- ◆ お客様の困りごと
「いまのWindowsではプリンタドライバが各社各製品で異なる。
これが本当に痛い。」
- ◆ BMLinkSの良い点
「BMLinkSドライバが機種非依存なことは、ものすごく魅力的だ。
これがあるから使っている。」
- ◆ BMLinkSの悪い点
「普及していないよね。」
- ◆ 今後の期待
「TCO削減のため、誰が何枚印刷したか管理したい。
BMLinkSで出来るようになることを期待している。」

2. マルチベンダー環境における オフィス機器管理コストを削減

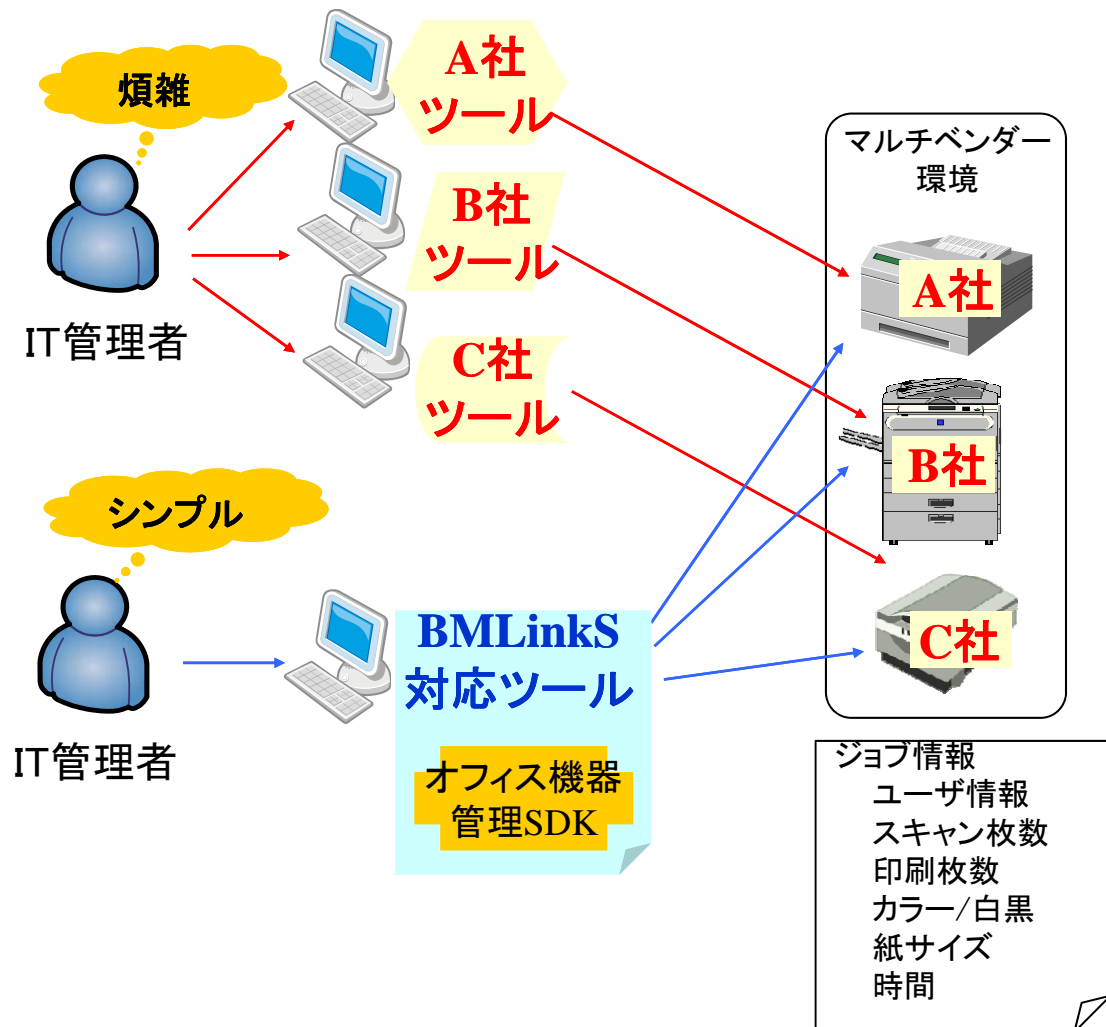
BMLinkSオフィス機器管理SDK発表
2009年9月より対応製品出荷開始

＜オフィス機器管理SDKとは＞
BMLinkS対応機器の管理アプリ開発を行うための
開発ツールとライブラリ

利用例1:異なるベンダー機器を ひとつのツールで管理し、利用履歴を取得

◆ 困りごと
「複数のベンダー独自
ツールで利用履歴を取
得するので、ツールの使
い分けが煩雑である」

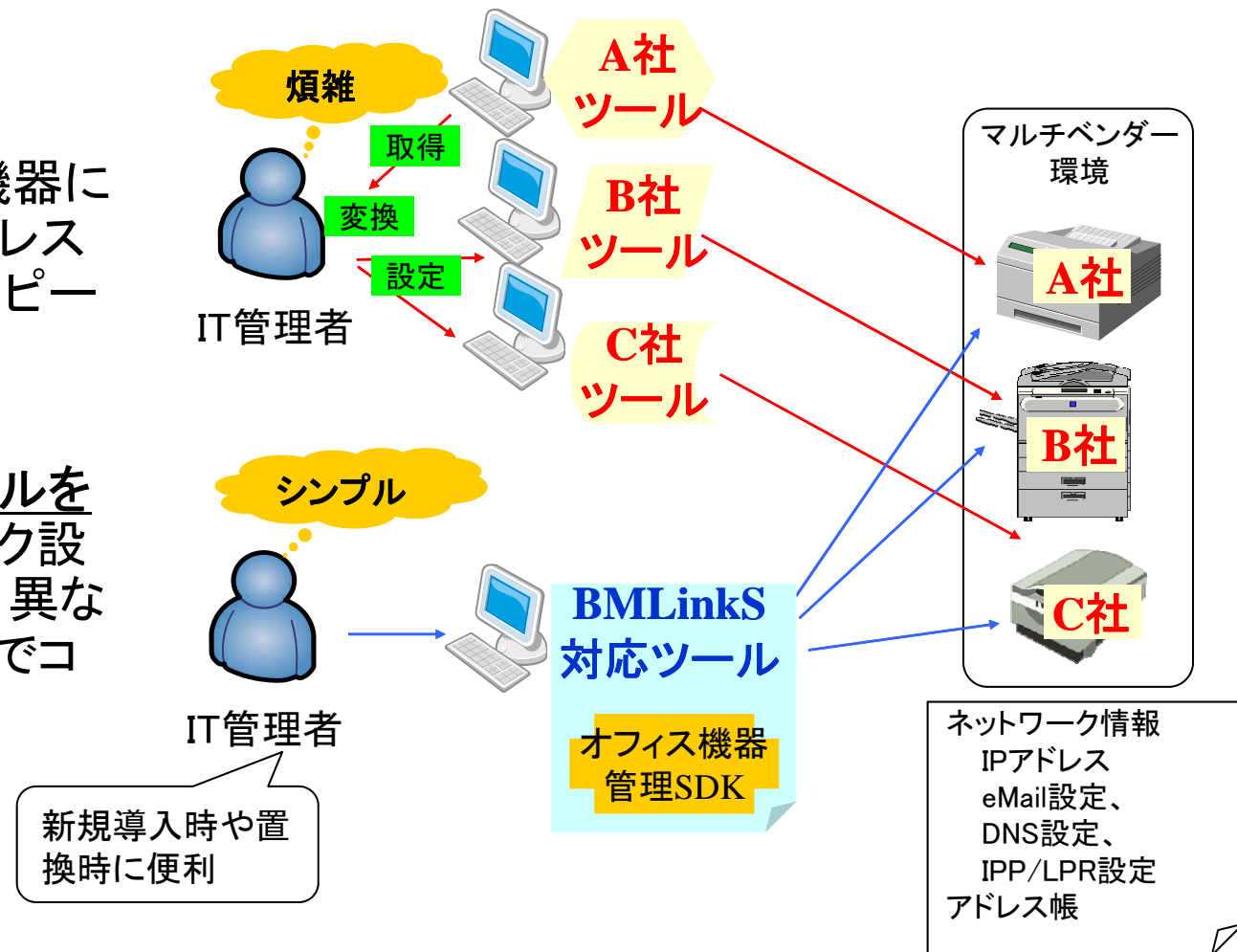
◆ ひとつの管理ツールを
使って複数ベンダーの機
器を管理し、利用履歴取
得できる。



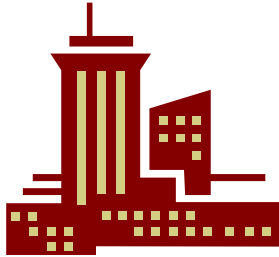
利用例2:異なるベンダー機器間で アドレス帳や機器設定をコピー

◆ 困りごと
「異なるベンダー機器に
置き換えると、アドレス
帳や機器設定のコピー
が煩雑である」

◆ ひとつの管理ツールを
使って、ネットワーク設
定やアドレス帳を、異な
るベンダー機器間でコ
ピーできる。

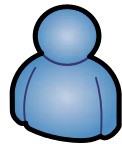


仮想顧客事例 大手A会社



製造販売業
従業員 4,000人
導入PC 4,000台
プリンタ 1,000台 (A社 600台、B社400台)
MFP 500台 (C社 300台、D社200台)

PCやプリンタ、MFPの入れ替えに伴うコスト
約5~10万円/月を削減したい^{※1}



IT管理者

全社ユーザ別課金状況をまとめるコスト
約4~8万円/月を削減したい^{※2}

コスト削減対象額

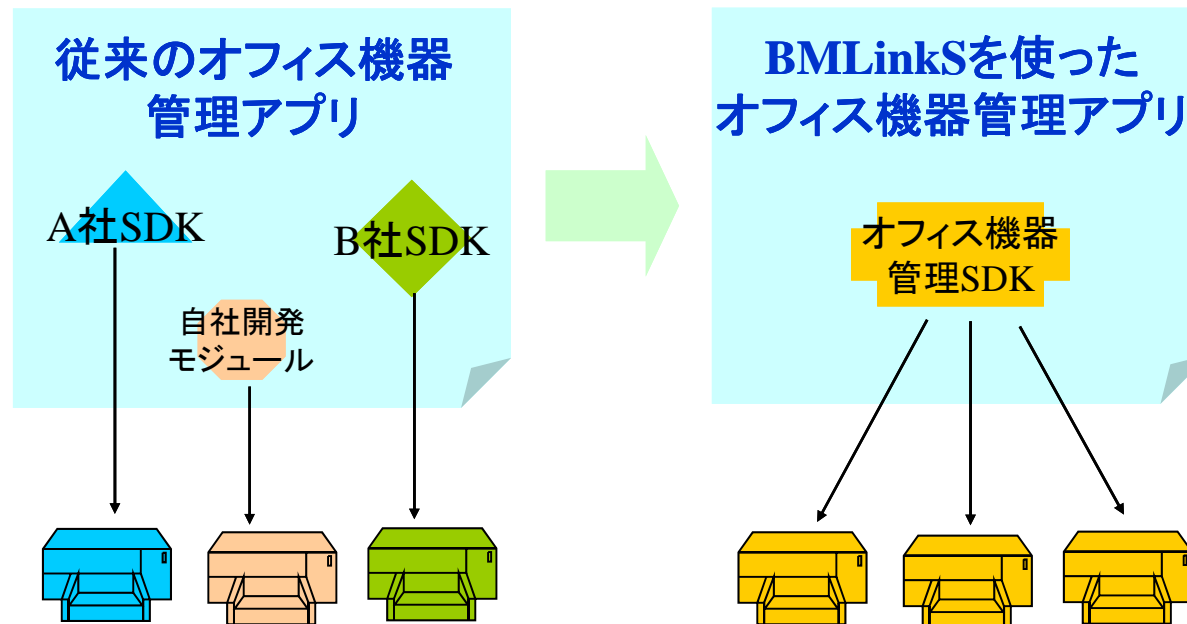
約108~216万円/年

BMLinkSは、IT管理コストを削減します。

※1. 毎月66台の新規PC導入と、MFPとプリンタを25台入れ替え設置に伴う100台のクライアントPCのドライバのインストールし、この10%に「印刷できない、スキャンできない、使い方が分からない」問題が発生したとき、月コスト100万円のIT管理者が、1件当たり30分~1時間サポートを行ったと仮定。
※2. 各ベンダー独自ツールを使ってユーザ別利用料金CSVファイルを取得し、それら複数CSVファイルを編集して全社のユーザ別課金状況を4~8時間作業したとき。

<<システムインテグレーター様へ>>

BMLinkS オフィス機器管理SDKを使って、
機器管理アプリを容易にマルチベンダー対応に出来ます。



デモンストレーション

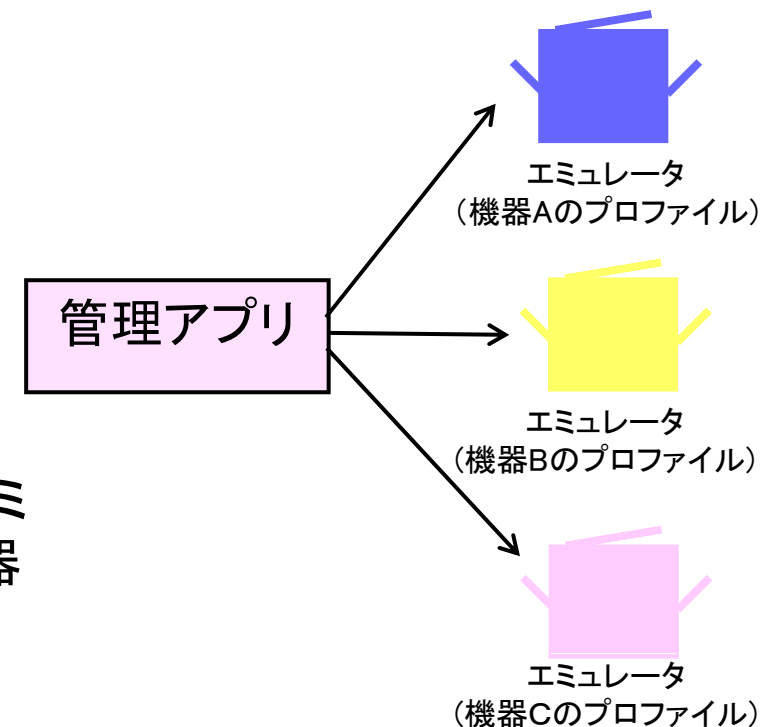
BMLinkS オフィス機器管理SDK

- ◆ SDKとは:
BMLinkS対応機器の管理アプリ開発を行うための開発ツールとライブラリ

- ◆ SDKの内容

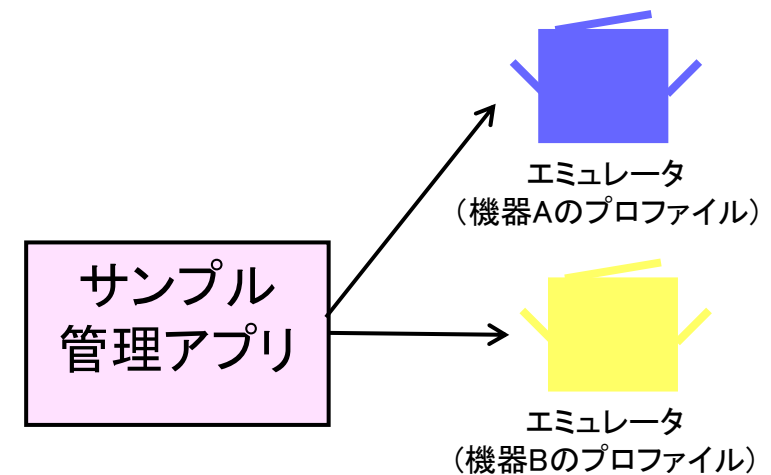
- ▶ 技術資料
- ▶ オフィス機器エミュレータと複数のプロファイル
- ▶ サンプル オフィス機器管理アプリ (ソースコードを含む)

- ◆ BMLinkS対応オフィス機器の代わりに、エミュレータを使うことで、多数のBMLinkS機器を用意せずに開発・評価できる



デモンストレーション

1. 複数のエミュレータを異なるプロファイルで起動
2. 管理アプリで機器の状態監視
3. 管理アプリでアドレス帳のコピー



オフィス機器管理SDK提供について、
JBMIAまでお気軽にお問い合わせください。

- システムインテグレーターA社様でSDKを使って採用検討いただいています。
- システムインテグレーターB社様で前向きに検討いただいています。

3. マルチベンダー環境における 文書セキュリティ向上

現在の注力活動紹介
2010年5月に標準化予定

マルチベンダー環境における 文書セキュリティ向上

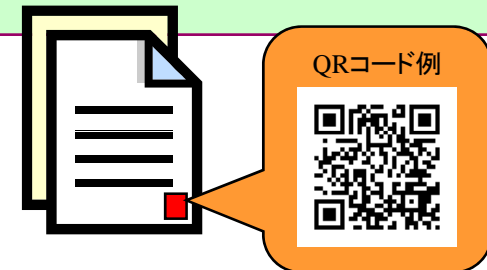
社外秘文書を、
うっかり複製してしまった。

A社とB社の複写機で同じように
複製防止したい。



お客様

QRコードを文書に付加し、うっかりミスによる情報漏洩防止を図ります。



利用例1: 複写防止

マルチベンダー環境のMFPにおいて紙文書の複写防止(抑止)し、情報漏洩事故を低減できます。



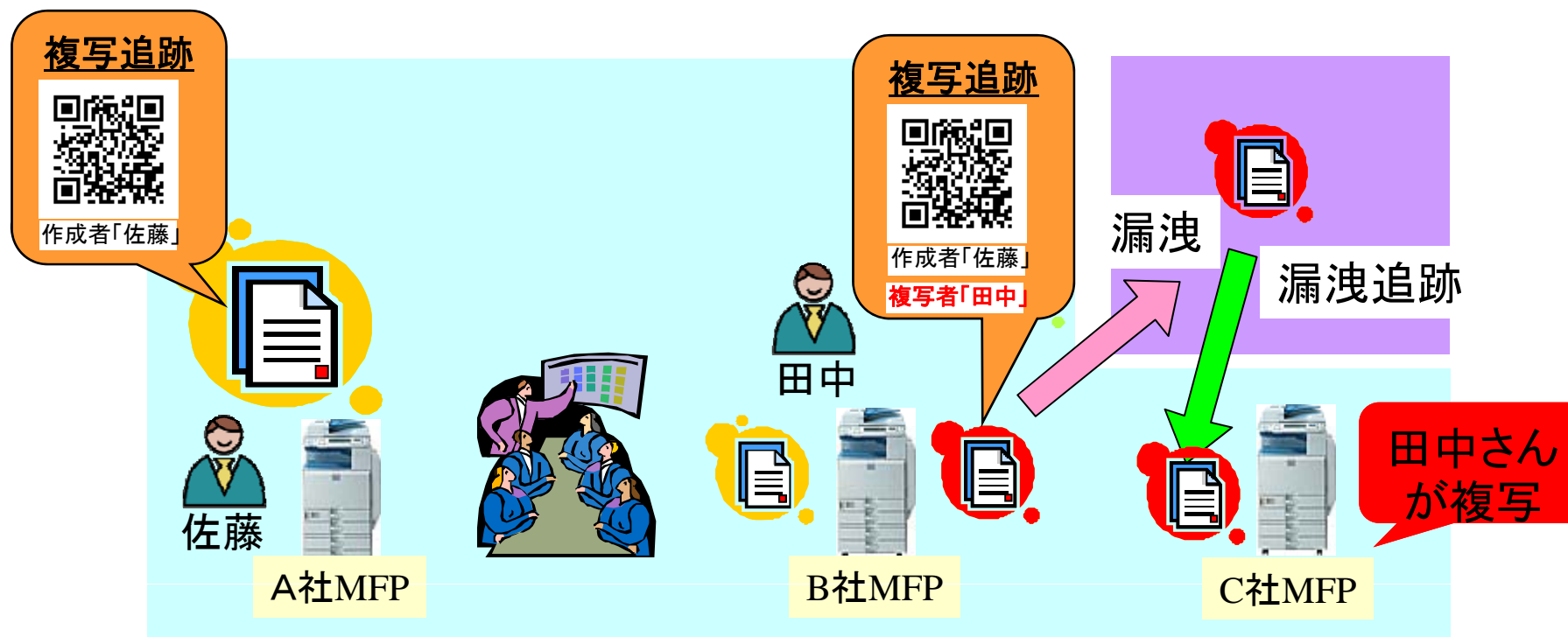
Step1
「複写防止」
指定して印刷

Step2
会議参加者に
紙文書配布

Step3
配布された紙文書を複写できない

利用例2: 複写作成者追跡

マルチベンダー環境のオフィス機器が連携して
文書作成者および複写作成者情報を文書に埋め込み、
誰が複写したか追跡できます。



Step1
「複写追跡」
指定して印刷

Step2
会議参加者に
紙文書配布

Step3
会議参加者が
複写し、漏洩

Step4
漏洩発見。誰が
複写したか追跡

まとめ

1. アンケートやヒアリングから、お客様の活用事例が把握できました。
2. マルチベンダー環境にあるオフィス機器の管理コストを削減について、
システムインテグレーター様との協業が進行中です。さらに多くのシステムインテグレーター様に「オフィス機器管理SDK」を提供します。
3. マルチベンダー環境にあるオフィス機器で文書セキュリティの仕組みを構築します。2010年5月を目標に技術標準作業中です。

最後に

<<システムインテグレーター様へ>>
 オフィス機器管理SDKの利用に関して、JBMAIにお問い合わせください

